

わらい

- 社会人1年生や学生がどれくらいの収入と支出で暮らしているかを知り、費目ごとの経費を考えることにより、生活と支出を見つめ直す。
- ひとり立ちのかなめは、収支の合う暮らし方であることを自覚する。
- 非消費支出の額を把握し、任意保険加入の決断・預貯金への配慮など、経済的な意思決定の演習をする。
- 自分の将来を見通しながら、限られた収入を上手に配分して最大の満足が得られる金銭管理能力を養う。

使い方

- (1) **その1** で金銭管理能力チェックを行い、現在の自分の力を自覚する。
Yesが多いほど管理能力が高い夢野貯男君である。一般的に高校生では5つ以上をNoと答えている。したがって、今輪駄目男君となる。
- (2) **その2** では学生の収支の実態を、**その3** では社会人の初任給の差や支出の実態を把握し、**その4** につなげる。
- (3) **その4** では収支の合った楽しい生活になるよう支出を配分する。
 - ① 経常収入は、次のように記入する。
 - ・学生の仕送り費用は、未決定の場合は **その2** の数値あるいは **資料1**、**資料2**、**資料3** を使用する。
 - ・アルバイトや奨学金については **その2** か **資料1**、**資料3**、**資料4** の数値を記入するか本書17ページの **資料8** を参考にする。
 - ・社会人1年生は、**ワーク4** の **その2** 給与明細の支給額合計を記入する。
 - ② 単身世帯における標準生計費の食費は、月当たり25,350円である（平成29年4月、人事院調査）。
表の⑥に記入する食費は、25,350円から **その3** の全国消費実態調査の数値までのものを使用するとよい。
 - ③ 住居費⑥は **ワーク3** か **ワーク6** で決定した家賃に管理費(車を所有する場合は駐車場代も含む)をプラスして算出する。
 - ④ 消費支出の光熱水道費⑦から、その他⑩までは、**その4** の消費支出等の参考資料および **資料1**、**資料3**、**資料5**、**資料6** を参考に記入する。「自分の生活スタイル」を考えながら意思決定し記入する。
 - ⑤ 所得税⑭は **ワーク4** の給与明細書や求人票の数値を使用する。
 - ⑥ 国民年金⑮は学生のみ16,490円を記入する。
 - ⑦ 社会人は各種社会保険料欄には **資料8**、**資料9** を参考に記入するか、求人票の数値を⑯～⑳に記入する。
 - ⑧ 預貯金⑰に少額でも金額を入れる。クレジットで購入したいものがあれば、㉑に記入する。クレジットの返済月額は月収の15%以内になるよう計画する。任意保険料については、**資料10**、**資料11** を参照する。
 - ⑨ 表のそれぞれの合計が $A=B+C+D$ となるよう収支を合わせる。
 - ⑩ シミュレーション後の感想、経済生活の展望を記入する。

指導上の留意点

- (1) 住居費については手取り収入の3分の1以下を目安にするようアドバイスする。
住宅情報誌や地元の新聞折り込み広告などを使って楽しく選択させる。
- (2) 給料から天引きされる税のうち、住民税は新卒の場合、前年度収入がないので徴収されていないことを補足する。
- (3) 国民年金については保険料の未払い者が多い実態について考えさせる。その際、①学生も20歳から保険料を支払うこととなっているが、申請すれば支払いを猶予されること、②猶予期間中にケガで障害を負った場合には、未払いのケースとは違って、障害基礎年金を受けることができることなどについても教える。
- (4) 誘惑の多い消費社会の中で「欲しいモノ」と「必要なモノ」を考えながら経済生活を送ることの重要性について考えさせる。
支出が収入を超える生活が常態化することは、生活破綻をきたし多重債務予備軍となりやすいことに気づかせる。

発展

- (1) 進路室やハローワークなどから地元の求人票をもらい実際にシミュレーションをしてみよう。
- (2) **資料7**～**資料9** を参考にし、求人票の所得税額や社会保険料を検証してみよう。
- (3) 生活スタイルは人により違いがある。配分した生活費を発表しあうことにより、生活のしかたや生き方を学びあおう(**資料5**、**資料6**)。

参考資料

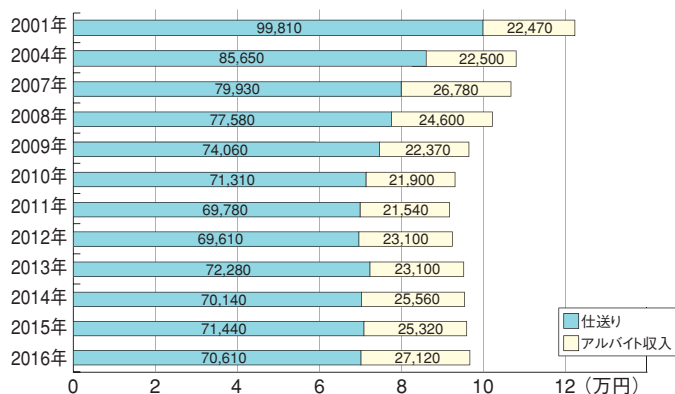
資料1 ひとり暮らしの生活費(1カ月平均、自宅外生〈寮生除く〉)

(単位:円)

		全国	北海道	東北	1都3県	北甲	東海	北陸	京都	阪神	京阪神	中国	九州
収入	仕送り	70,610	61,270	62,150	83,290	63,950	67,690	62,570	73,950	65,660	71,860	56,710	59,500
	奨学金	21,260	25,300	27,610	18,900	18,290	19,880	21,730	17,720	23,210	19,100	27,090	28,070
	アルバイト	27,120	25,540	21,360	31,560	26,720	32,120	27,050	30,550	36,270	31,990	25,880	25,870
	定職+その他	1,830	2,120	1,630	2,170	1,580	1,690	2,090	2,070	1,700	1,980	1,720	2,220
	合計	120,820	114,230	112,750	135,920	110,540	121,380	113,430	124,300	126,840	124,940	111,400	115,650
支出	食費	24,770	22,250	22,330	27,510	23,620	24,720	23,320	25,530	24,990	25,400	22,900	22,310
	住居費	51,990	47,780	48,530	59,920	45,240	48,150	48,760	53,550	52,410	53,260	45,550	48,810
	交通費	3,280	2,220	1,620	5,090	2,050	3,140	3,200	4,230	4,100	4,190	1,760	3,570
	教養娯楽費	8,800	7,110	6,790	9,080	9,450	9,490	7,780	8,560	8,840	8,630	7,490	7,770
	書籍費	1,590	1,340	1,410	1,710	1,690	1,550	1,320	1,520	1,280	1,460	1,390	1,490
	勉学費	1,360	1,110	1,170	1,690	1,590	1,220	1,390	1,360	1,050	1,280	1,470	1,380
	日常費	5,810	4,770	5,290	5,960	5,870	5,820	5,680	6,290	7,250	6,540	5,240	5,550
	電話代	3,510	4,090	3,750	4,070	2,400	3,630	3,090	3,600	3,690	3,620	3,580	3,870
	その他	3,220	3,770	2,340	3,770	5,340	3,860	2,990	3,420	3,020	3,320	3,440	3,020
	貯金・繰越	13,270	14,880	15,250	13,490	10,700	14,160	12,390	13,420	15,150	13,860	14,220	13,650
	合計	117,610	109,300	108,470	132,310	107,930	115,750	109,930	121,470	121,780	121,550	107,040	111,420

出所:全国大学生協同組合連合会「CAMPUS LIFE DATA 2016」(2017年3月)より作成

資料2 仕送り・アルバイト収入の推移



出所:全国大学生協同組合連合会「CAMPUS LIFE DATA 2016」(2017年3月)より作成
(注)全国平均、自宅外生(寮生除く)。

資料3 自宅生の1カ月の生活費

(単位:円)

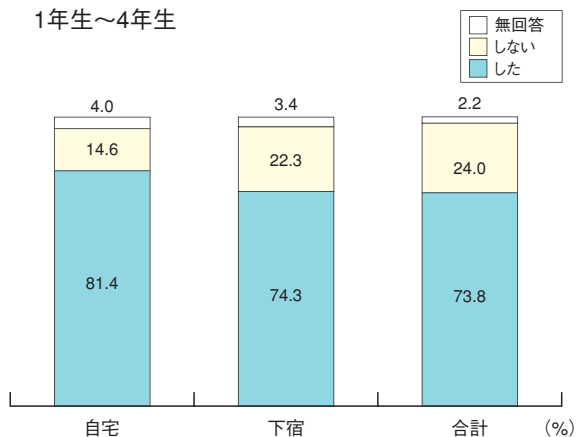
収入		支出	
合計	62,310	合計	60,690
小遣い	14,270	食費	12,580
奨学金	10,770	住居費	160
アルバイト	35,770	交通費	8,830
定職+その他	1,500	教養娯楽費	8,240
		書籍費	1,450
		勉学費	960
		日常費	4,900
		電話代	2,280
		その他	3,180
		貯金・繰越	18,090

出所:全国大学生協同組合連合会「CAMPUS LIFE DATA 2016」(2017年3月)より作成

資料4 アルバイトの収入

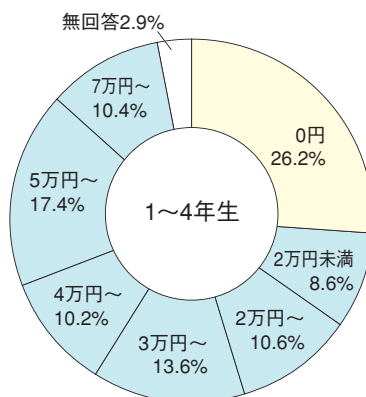
○アルバイトをした人 ※半年間にアルバイトを経験した率

1年生～4年生



出所:全国大学生協同組合連合会「CAMPUS LIFE DATA 2016」(2017年3月)

○アルバイト収入の分布



○月々のアルバイト収入

※アルバイトをしている人の有額平均	
1年生の平均	37,860円
全学年の平均	41,960円

資料5 大学生の生活の例

1カ月の家計簿

収入

- 仕送り ¥150,000
- 合計 ¥150,000

支出

- 家賃 ¥62,100
- 駐車場 ¥7,000
- 電気・ガス・水道代 ¥8,000
- 食費 ¥30,000~¥40,000
- 学用品・書籍代 ¥1,000~¥2,000
- 飲み代 ¥3,000~¥6,000
- 交遊費 ¥10,000~¥20,000
- 合計 ¥130,000~¥150,000

間取り1K(居室10畳+キッチン)

家賃 ¥62,100

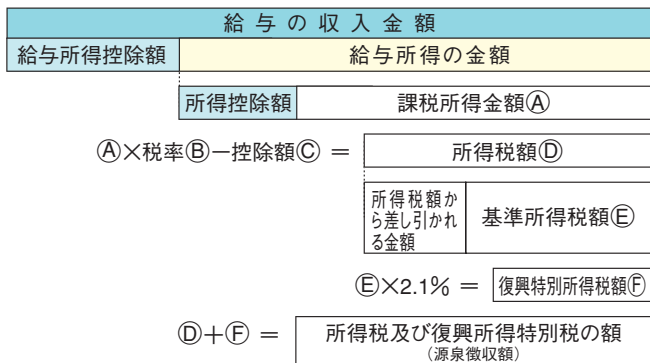
- 場所/K県A市
- アクセス/最寄駅へは徒歩15分、キャンパスへは自転車20分
- 築年数/2年

資料6 ひとり暮らしの生活費(社会人)例

愛知県 A・Jさん(22歳)			神奈川県 H・Mさん(23歳)			神奈川県 S・Yさん(26歳)		
新聞社勤務。遠距離恋愛中の彼氏がいる。			病院勤務。最近、自分の浪費グセに気づき始めた。			幼稚園教諭として、忙しい日々を過ごしている。		
収入	200,000円	手取りの平均額。	収入	190,000円	いつもほぼこの金額。	収入	170,000円	いつもこれくらい。
家賃	50,665	約13畳の1LDK。	家賃	68,000	8畳のワンルーム。	家賃	56,000	2Kなのでゆったり。
食費			食費			食費		
自炊費	26,125	ふだんは自炊が多い。	自炊費	10,000	朝食用のパンや果物など。	自炊費	15,000	1週間の予算は3,000円。
外食費	13,839	友達との食事代。	外食費	35,000	おもにコンビニで消費。	外食費	20,000	飲み代がかさみがち。
水道光熱費			水道光熱費			水道光熱費		
電気代	2,721	いつもこれくらい。	電気代	3,500	いつもこれくらい。	電気代	2,500	3,000円は超えない。
ガス代	3,984	自炊するので高め。	ガス代	3,000	ほぼ変動なし。	ガス代	2,500	いつもこれくらい。
水道代	4,000	2カ月分、あまり変化なし。	水道代	3,000	2カ月分。	水道代	3,000	2カ月分。
電話代			電話代			電話代		
自宅	2,700	IP電話なので、ほぼ基本料金のみ。	携帯	8,500	メールが多いと7,000円前後。	携帯	12,000	15,000円は超えないように。
携帯	7,000	できるだけ抑えている。	プロバイダ料	3,000	あまり使っていない。	新聞・雑誌・書籍代	3,000	仕事から、絵本を買う。
プロバイダ料	5,250	IP電話+ADSL	新聞・雑誌・書籍代	10,000	テレビ雑誌と女性誌。	洋服・美容代	12,500	平均するとこれくらい。
新聞・雑誌・書籍代	2,500	新聞代が会社持ちなので、本が買える。	洋服・美容代	15,000	2カ月に1度の美容院代。	交際費	10,000	映画は月2本見たい!
洋服・美容代	9,250	おもに洋服代。	交際費	5,000	友人とのディナー代。	日用品代	1,500	安いドラッグストアに行く。
交際費	20,000	彼氏の誕生日プレゼントを購入。	日用品代	5,000	ヘアケア剤は高めのものを購入。	趣味・娯楽費	2,000	雑貨やグリーンなどの購入。
日用品代	2,000	消耗品を購入。	各種保険・年金	20,000	30才になると30万円のボーナスが。	交通費	9,000	定期券や外出時の移動に。
交通費	15,000	彼に会いに行くので、どうしても必要。	カード支払い	50,000	おもに洋服。ボーナスで補填。	各種保険・年金	8,000	生命保険。
貯蓄	30,000	最近毎月一定額を預金。	貯蓄	25,000	給料天引きの財形貯蓄。	貯蓄	10,000	銀行の積み立て預金。
その他	10,000	通信教育の学費を親に返済中。						
支出合計	205,034円	彼氏関係の出費は割れない。	支出合計	264,000円	赤字の原因がわからないことも。	支出合計	167,000円	欲しいものがたくさんあって...

出所：主婦の友社「Roomsひとり暮らしの部屋づくり」(2004年VOL.11)

資料7 給与所得と所得税及び復興特別所得税のしくみ



〈給与所得控除額〉

年 収	給与所得控除額
162万5,000円以下	65万円
162万5,000円超 ~ 180万円以下	年収 × 0.4
180万円超 ~ 360万円以下	年収 × 0.3 + 18万円
360万円超 ~ 660万円以下	年収 × 0.2 + 54万円
660万円超 ~ 1,000万円以下	年収 × 0.1 + 120万円
1,000万円超	220万円

出所：国税庁「暮らしの税情報」(平成29年度版)より作成

〈所得控除〉

基礎控除が38万円。その他、配偶者控除、配偶者特別控除、扶養控除、社会保険料控除、生命保険料控除、地震保険料控除、医療費控除等14種類がある。それぞれの所得控除の要件に当てはまる場合には、上限額までの控除を受けることができる。

〈平成29年分所得税の税額表〉〔求める税額=A×B-C〕

A 課税所得金額	B 税率	C 控除額
1,000円から 1,949,000円まで	0.05(5%)	0円
1,950,000円から 3,299,000円まで	0.1(10%)	97,500円
3,300,000円から 6,949,000円まで	0.2(20%)	427,500円
6,950,000円から 8,999,000円まで	0.23(23%)	636,000円
9,000,000円から 17,999,000円まで	0.33(33%)	1,536,000円
18,000,000円から 39,999,000円まで	0.4(40%)	2,796,000円
40,000,000円以上	0.45(45%)	4,796,000円

資料8 健康保険・厚生年金保険の保険料

(単位:円)

標準報酬		報酬月額		全国健康保険協会管掌健康保険料				厚生年金保険料	
				介護保険第2号被保険者に該当しない場合		介護保険第2号被保険者に該当する場合		一般・坑内員・船員 (厚生年金基金加入者を除く)	
				9.91%		11.56%		全額	折半額
等級	月額	円以上	円未満	全額	折半額	全額	折半額	18.300%	9.150%
1	58,000	~	63,000	5,747.8	2,873.9	6,704.8	3,352.4		
2	68,000	63,000	~	73,000	6,738.8	3,369.4	7,860.8	3,930.4	
3	78,000	73,000	~	83,000	7,729.8	3,864.9	9,016.8	4,508.4	
4(1)	88,000	83,000	~	93,000	8,720.8	4,360.4	10,172.8	5,086.4	16,104.00
5(2)	98,000	93,000	~	101,000	9,711.8	4,855.9	11,328.8	5,664.4	17,934.00
6(3)	104,000	101,000	~	107,000	10,306.4	5,153.2	12,022.4	6,011.2	19,032.00
7(4)	110,000	107,000	~	114,000	10,901.0	5,450.5	12,716.0	6,358.0	20,130.00
8(5)	118,000	114,000	~	122,000	11,693.8	5,846.9	13,640.8	6,820.4	21,594.00
9(6)	126,000	122,000	~	130,000	12,486.6	6,243.3	14,565.6	7,282.8	23,058.00
10(7)	134,000	130,000	~	138,000	13,279.4	6,639.7	15,490.4	7,745.2	24,522.00
11(8)	142,000	138,000	~	146,000	14,072.2	7,036.1	16,415.2	8,207.6	25,986.00
12(9)	150,000	146,000	~	155,000	14,865.0	7,432.5	17,340.0	8,670.0	27,450.00
13(10)	160,000	155,000	~	165,000	15,856.0	7,928.0	18,496.0	9,248.0	29,280.00
14(11)	170,000	165,000	~	175,000	16,847.0	8,423.5	19,652.0	9,826.0	31,110.00
15(12)	180,000	175,000	~	185,000	17,838.0	8,919.0	20,808.0	10,404.0	32,940.00
33(30)	590,000	575,000	~	605,000	58,469.0	29,234.5	68,204.0	34,102.0	107,970.00
34(31)	620,000	605,000	~	635,000	61,442.0	30,721.0	71,672.0	35,836.0	113,460.00
35	650,000	635,000	~	665,000	64,415.0	32,207.5	75,140.0	37,570.0	56,730.00
36	680,000	665,000	~	695,000	67,388.0	33,694.0	78,608.0	39,304.0	
37	710,000	695,000	~	730,000	70,361.0	35,180.5	82,076.0	41,038.0	
38	750,000	730,000	~	770,000	74,325.0	37,162.5	86,700.0	43,350.0	
39	790,000	770,000	~	810,000	78,289.0	39,144.5	91,324.0	45,662.0	
40	830,000	810,000	~	855,000	82,253.0	41,126.5	95,948.0	47,974.0	
41	880,000	855,000	~	905,000	87,208.0	43,604.0	101,728.0	50,864.0	
42	930,000	905,000	~	955,000	92,163.0	46,081.5	107,508.0	53,754.0	
43	980,000	955,000	~	1,005,000	97,118.0	48,599.0	113,288.0	56,644.0	
44	1,030,000	1,005,000	~	1,055,000	102,073.0	51,036.5	119,068.0	59,534.0	
45	1,090,000	1,055,000	~	1,115,000	108,019.0	54,009.5	126,004.0	63,002.0	
46	1,150,000	1,115,000	~	1,175,000	113,965.0	56,982.5	132,940.0	66,470.0	
47	1,210,000	1,175,000	~	1,235,000	119,911.0	59,955.5	139,876.0	69,938.0	
48	1,270,000	1,235,000	~	1,295,000	125,857.0	62,928.5	146,812.0	73,406.0	
49	1,330,000	1,295,000	~	1,355,000	131,803.0	65,901.5	153,748.0	76,874.0	
50	1,390,000	1,355,000	~		137,749.0	68,874.5	160,684.0	80,342.0	

出所: 全国健康保険協会ホームページ (http://www.kyoukaikenpo.or.jp/)、日本年金機構ホームページ (https://www.nenkin.go.jp/)

- (注) 1. 健康保険料率は平成29年3月1日より適用、厚生年金保険料率は平成29年9月1日より。
- 2. 「介護保険第2号被保険者」とは、40歳以上65歳未満の方。
- 3. 等級欄の()内の数字は、厚生年金保険の標準報酬月額等級。
- 4 (1)等級の「報酬月額」欄は、厚生年金保険の場合、「93,000円未満」と読み替える。
- 34(31)等級の「報酬月額」欄は、厚生年金保険の場合、「605,000円以上」と読み替える。

【話題】マイナンバー(個人番号)

2016年1月から、社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)がスタートし、国民一人ひとりが12ケタのマイナンバー(個人番号)を持つことになりました。マイナンバーは、社会保障・税・災害対策の分野において、行政の効率化、国民の利便性向上、公平・公正な社会の実現のために使われます。

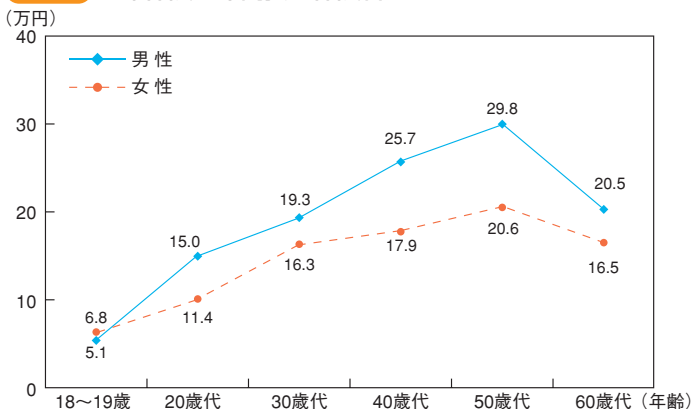
国民がマイナンバーを提供した場合、その取り扱いや管理は厳格に行うことが法令で定められていますが、個人としてもしっかり管理するようにしましょう。公共機関や金融機関の名をかたってマイナンバーや個人に関する情報を聞き出そうとする不審な電話、メール等が報告されています。

資料9 雇用保険の保険料率

事業の種類	改定後(平成29年4月1日適用)		
	保険率	事業主負担率	被保険者負担率
一般の事業	9/1000	6/1000	3/1000
農林水産 清酒製造の事業	11/1000	7/1000	4/1000
建設の事業	12/1000	8/1000	4/1000

出所: 東京労働局ホームページ (http://tokyo-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/)

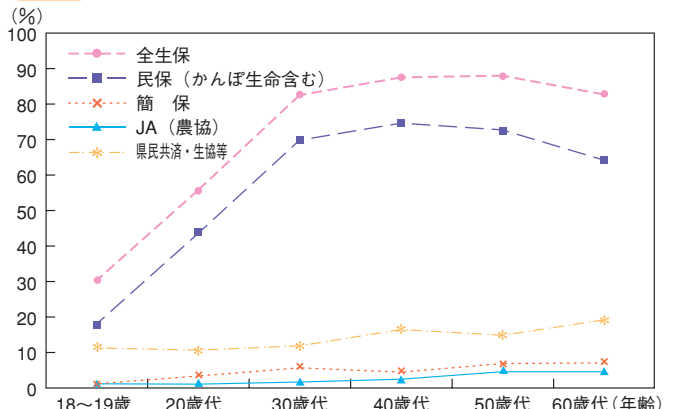
資料10 生命保険の年間払込保険料



出所: 生命保険文化センター「生活保障に関する調査」(平成28年度)

(注) 民間の生命保険会社や郵便局、JA(農協)、生協:全労済で取り扱っている生命保険や個人年金保険の加入者のうち実際に保険料を支払っている人の年間払込保険料(一時払や頭金の保険料は除く)。

資料11 生命保険加入率



出所: 生命保険文化センター「生活保障に関する調査」(平成28年度)